

JOCA Kyushu

だより



特定非営利活動法人九州海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association of Kyushu

事務局長より新年のあいさつ

2013年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。昨年は震災発生年に続く復興元年として様々な支援活動が継続された1年でしたが、九州では北部九州豪雨で熊本、大分、福岡の各県が多大な被害を蒙り、この災害に対しても日本全国から温かい支援の手が差し伸べられ、人や地域は支えあって生きていることを改めて認識させられた1年でした。今年はいこれらの災害を契機に生まれた世界の絆がより強固になることと、被災地の早急な復興と自然災害に見舞われない良い年になることを願いたいと思います。そんな中、昨年スタートした海外プロジェクトのBOPビジネス「カンボジア命の水プロジェクト」は現地に調査団を派遣して順調に船出しました。これと並行して国内では日比谷公園で開催された「グローバルフェスタJAPAN 2012」や東京ビッグサイトで開催された「グリーンイノベーションEXPO 2012」でもプロジェクトの実施本体である輝水工業の森社長の陣頭指揮の下、積極的なPR活動を行ってきました。今年はいよいよ現地（カンボジア）での活動が開始します。「命の水プロジェクト」に携わるスタッフ一同カンボジアとの絆を深めるよう邁進しますので一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。花田

田淵 陽平

Bonne année!



昨年もOV会やOVをはじめ、多くの会員の皆様にお世話になりました。今年はい、干支の巳に、ちなんで、これまでの自分から脱皮し、大きく成長する年にしたいと思います。本年もよろしく願いいたします。

武井 隆治

明けましておめでとうございます。昨年も多くの方に支えられ、おかげさまで今年も無事迎えることができました。今年も健康第一で頑張っていきたいと思います。(せめて標準体重に。)そして、これまでに培ってきた物をさらに磨きをかけ、今年も頑張っています。



田中 雅史

皆さま明けましておめでとうございます！あつという間に新年のスタート、平成になって25年も経ったんですね。今年(今年も?)の目標は減量と英語の勉強。そろそろ将来に向けて、真剣に体も頭も鍛えていかななくては、と思っています。本年もどうぞ宜しくお願い致します。



謹賀新年

職員より新年のご挨拶

森川 大毅

新年、明けましておめでとうございます。今年一年、常に前を向いて、一歩でも二歩でも自分らしく、先に進んでいける年にしたいと思います。本年もどうぞよろしく願い申し上げます！



河野 菜津子

新年あけましておめでとうございます。約3年ぶりに故郷でお正月を迎えました。やはり実家は落ち着きますね。今年の目標は忘れ物をしないこと…切実です。今年もよろしく願い致します。



米村 淳平

あけましておめでとうございます。無職から脱却し、今年はい仕事をばりばりこなして立派な社会人になりたいと思います。語学力も伸ばしていきたいと思っています。体も鍛え心も清め新しい気持ちで0からスタートします！本年もどうぞ宜しくお願いいたします。





マダガスカル希少動物保護事業

今回は、11月6日より19日まで約2週間マダガスカルに希少動物保護事業の調査に行ってきました。今回の主な目的は、協定書の更改手続き、輸出手続きの確認、検疫獣舎の改修、次回捕獲の準備、環境教育の実施でした。

マダガスカルは南半球で、日本と季節が反対。雨期が始まっており、夏前にもかかわらず毎日30℃を越え、日本との温度差に苦労しました。

今回の出張では、横っ飛び猿で有名なシファカの調査のためベレンティー保護区に行ってきました。

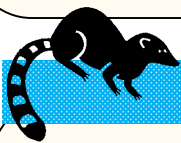
保護区内にいるため、生態の自然な動きが手が触れられるほど間近にみる事ができました。シファカは水を一切飲ま

ないそうです。水を飲むと死んでしまうとのこと。水分は、新芽や果物からとるそうです。

日本政府は、今年5月に大統領選挙を行うことを決めたマダガスカルに現暫定政権を承認するという政治的な進展がありました。また、国家間での動物の輸入手続き開始され、少しずつですが希少動物保護事業は着実に前進しています。

今年は、いよいよシファカの捕獲が始まる予定です。

(田淵)



地球市民どんたく

11月10日(土)・11日(日)の2日間、アクロス福岡にて地球市民どんたくが開催されました。2012年のテーマは、私×「」=世界の笑顔。世界が笑顔になるために、私たちひとりひとりに出来ることを改めて考えました。JOCA九州のブースでは、協力隊の活動紹介や活動中の隊員から届いたブルマウンテンコーヒー豆を使ったアクセサリー(ジャマイカ)とミサンガ(ケニア)を展示・販売しました。11日はジャマイカで活動中のシニア隊員の方に、配属先や現地の様子などを来場者の皆さんに紹介して頂きました。

アクセサリーの売上金は全て現地の障がい者支援や活動費に使用いたします。ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございます。(河野)

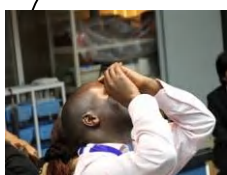


BOPビジネス

昨年11月10日から1週間、カンボジアへ「命の水プロジェクト」の視察・調査に行ってきました。今回は農村視察・調査ということで、どのようなニーズを住民がもっているのか、水に関しての問題はどのようなものか等、本当に基礎的な部分を確認して来ました。

私の任国はアフリカのザンビアでしたので、アジアの開発途上国に行くのは初めてでしたが、同じ貧困でも若干種類が違うような感じを受けました。やはり、文化・生活習慣の違いや環境の違いは色々な場面に現れてくるものなのですね。それぞれにあった方法を見つけていくことが肝心だと改めて確認しました。

年明け早々、今月には2回目の調査がありますので、しっかり準備をして良いものにしていきたいと思います。皆様にも定期的にご報告していきたいと思っております。(田中)



アフリカ11カ国より総勢21名の青年達が来日し、福岡県内の各教育関係機関視察や講義等を受けました。研修期間は11月16日から28日までの短期間でしたが、全員大きく体調を崩すことなく全研修日程を無事終了することができました。

飯塚市立伊岐須小学校では、算数・理科の授業を視察させて頂きました。算数の授業視察では、まず最初に百マス計算を行っている様子に研修員達は興味津々の様子でした。また、理科実験視察では、先生のクラスコントロールや授業の進め方等に驚きと深い感銘を受けていました。最後に授業を視察させて頂いた先生方との意見交換も行わせて頂き、多くの事を学ぶ機会となりました。

この他にも、福岡市教育委員会・福岡教育大学教授・エスベランサ箱崎自由学舎小田氏・福岡県教育センターの方々から講義を頂戴し、北九州市立児童文化科学館・いのちのたび博物館・ROBOSQUAREでは理科実験を体験させて頂きました。また、ホームビジットでは、応募頂いたホストファミリーと一日を過ごし、様々な日本文化に触れることができました。わずか13日の研修でしたが、本当に多くの方々のご協力の元、全研修を終了することができました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。本当にありがとうございます。(武井)

JOCA青年研修 アフリカ混成
初中等理数科教育コース

出前講座

JICA国際協力出前講座という取り組みで、学校、公民館、イベント会場などで、九州内で年間200件以上の青年海外協力隊の体験談やワークショップ等の講座を行っています。

12月5日(水)はボランティアセミナーということで、門司区大里柳市民センターにて出前講座を行いました。門司区教育研究会の小中学校の先生方、管理職の先生方、教育委員会の方々を対象に、国際理解教育についての講演やOBによる青年海外協力隊の体験談を行いました。遅い時間帯にも関わらず、60数名もの先生方にご参加頂きました。

教育の最前線にいる現場の先生方に、これからの教育現場に必要とされる開発教育・国際理解教育が浸透していけばと思います。それにはまだまだ時間が必要であるかとは思いますが、少しでも先生たちに海外の現状が理解していただけたのではないかと思います。

途上国での課題は我々日本人の課題でもあるということ、日本が世界と繋がっているということ、これからの日本を背負っていく子どもたちに理解してもらうことが必要だと感じます。

そして、これからも教育現場で、協力隊の経験者の方々の活躍の場がもっともっと広がればと思います。

JICA展示

JICA九州センター館内の図書室横のスペースで3ヶ月ごとにテーマを決め、展示を行っています。今回は「衣・食・住」の第3弾として「住」に焦点を当てて展示をしています。

私たちの生活の基礎となるのが「住居」です。その住まいから見てくる世界の住居事情を紹介し、世界に興味を持てるような展示になっています。「住」を通じて、世界の環境問題を自分たちの問題としてとらえるきっかけづくり、世界各国の人たちの社会的・文化的思想、環境への適応の仕方を理解することで、その国の人たちの価値観を知り、異文化理解・国際理解へとつなげる事が出来ればと考えております。展示スペース内では、世界の様々な住居を世界地図上に紹介し、各国の小物やお祈りスペース、展示スペースの裏側には世界のトイレの模型も展示しております。われわれの住む日本との違いを展示を通して感じていただけたと思います。

JICA九州センターにお越しの際は、ぜひ展示コーナーにもお立ち寄りください。



クバーラ大会 in 日田

昨年度より日田市公民館運営事業団の事業として新たに始まったクバーラ大会ですが、今回は12月8日(土)に第二回大会が総合体育館にて盛大に開催されました。

大会には、市内全公民館20館から32チーム、総勢300人弱の子どもたちが参加しました。今年度は、事業団内にクバーラ大会のためのクバーラ部が設立され、4月から何度もミーティングを重ね準備を進めてきました。

プログラムは、クバーラ競技はもちろんですが、JICAタイムやJICAコーナーで、民族衣装を試着したり大分の協力隊OVから海外について学び、国際理解を深めました。また、参加した子どもたちがマダガスカルの子どもたちへのメッセージを書いたりしました。

実際の競技については、しっかりと大会に向けて練習してきたチームが多数あり、昨年に比べると格段にうまくなっており非常に高いレベルの戦いで、見てても非常に楽しいものでした。

大会には在日マダガスカル大使館より、アンドウ参事官が奥様を連れて観戦にきてくれました。マダガスカルの遊びを、日本の子どもたちが真剣に取り組んでいるのを見て、驚くと同時にとても喜んでいました。

いつかぜひ、現地の子どもとこちらの子どもが同じフィールドに立って一緒にクバーラができるようつづけていきたいと思っています。

※ご興味ある方はお声かけください



UNICA (ユニカ)

UNICAは、JOCA九州の北九州オフィスのインターン生を中心に結成された福岡県内の大学生の団体です。JICA研修員に接する機会の少ない大学生が、大学生の目線でイベントを企画し、共に異文化理解を深めていこうという趣旨で活動を行っています。また、国際協力に興味を抱きながらも実際に行動に移せないでいる学生がJICA九州を訪問するきっかけ作りにも繋がっていると考えています。結成してからは1~2ヶ月のペースでイベントを提案し、JICA九州の研修員とスポーツや書道を通して異文化交流を行ってきました。まだ発足して間もない団体ですが、活動を通して出会った、意識の高いメンバーと共に学び合い、今後もJICA研修員に日本の文化を体感してもらえようイベントをどんどん企画していきたいと考えています。

(代表 濱田)



退職挨拶

皆様こんにちは。平成25年1月から2年間 JICA企画調査員として、キルギス共和国に派遣が決まり当協会を退職することになりました。在勤中には帰国後の隊員の皆様をはじめ、当協会にご支援を頂く皆様のお力添えにより実りのあるお仕事をさせていただきました。私自身初心の気持ちを忘れずに、隊員の皆さんには「帰国後が本当の人生の出発点」と伝えて行きたい所存です。皆様、大変お世話になりました。(福永 善暢)

昨年10月より九州海外協力協会に着任いたしました。今年はBOPビジネスの関係でカンボジア出張も予定しています。カンボジアの皆さんが安全な水にアクセスできるようプロジェクトメンバーの皆さんと一緒に頑張りたいと思います！今後共よろしく願いいたします。(河野 菜津子)

同じく昨年10月より着任いたしました。JICA研修員福利厚生プログラムや募集説明会等でたくさんの人と出会い和を広げていきたいです！！今後共よろしく願いいたします。(米村 淳平)

ゆるメール

料金後納
郵便

特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館

2F AB号室

TEL:092-415-6536

E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

NPO JOCA Kyushu 会員募集中

当会の活動に御賛同いただける団体・個人の皆様に募集しております。会員の方には「JOCA Kyushuだより」を送付するほか、当会主催、共催のイベント情報をご案内させていただきます。

個人	正会員	3,000円	賛助会員	2,000円
団体	正会員	10,000円	賛助会員	10,000円
法人	正会員	30,000円	賛助会員	10,000円

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

～JOCA Kyushuブログ～

ブログを開設しております。週に3度スタッフが協力隊時代の話や活動の話を記しております。お時間のあるときにぜひご覧下さい。コメントもお待ちしております！
URL: <http://www.joca-kyushu.or.jp/>

発行 特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館 2F AB号室
TEL:092-415-6536
FAX:092-415-6518
HP:<http://www.joca-kyushu.or.jp/>
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

